

文学部学生のハイデルベルク大学・ストラスブール大学派遣（オンライン）

2020年度テーマ

「Living with Pandemics: Past, Present, Future（パンデミックとともに生きる：過去、現在、未来）」
(2021年2月、3月を予定)

大学院文学研究科では、スーパーグローバル大学創成支援事業「京都大学ジャパングートウェイ構想」の一環として、2017年10月に“京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境専攻（修士課程）”を新たに設置しました。文学部では、本専攻の連携先であるハイデルベルク大学や、ストラスブール大学への学部生派遣を実施してきました。本年度のテーマは「Living with Pandemics: Past, Present, Future（パンデミックとともに生きる：過去、現在、未来）」とし、社会学・人類学・歴史学の視点で、芸術・文学上のパンデミックの捉え方について（文化）越境的に、病気と人間社会の反応についてアジア（日本）とヨーロッパを対照しつつ考えてみようとする知的意欲を持つことを期待します。

本年度はコロナウィルス感染拡大に伴い、オンラインで開催することとなりましたが、本年度採択された学生は次年度のハイデルベルク大学・ストラスブール大学派遣への参加を希望する場合に選考を免除されます。

1. 派遣人数：6名（予定）

2. 対象学生：文学部1回生～3回生（休学中の者を除く）。

文学部の担任教員もしくは所属系・専修（所属予定を含む）の専任教員の推薦が必要。

3. 日程（予定）：

1月下旬 事前説明会・勉強会

2月下旬 ハイデルベルク大学 交流会とワークショップ（2～3回 Zoom での約4時間の活動）
具体的な内容は下記をご覧ください。詳しい日程は後日採択者に提供。

3月頭 ストラスブール大学 交流会とワークショップ（2～3回 Zoom での約4時間の活動）
具体的な内容は下記をご覧ください。詳しい日程は後日採択者に提供。

4. 内容

- ・事業テーマ「Living with Pandemics: Past, Present, Future」に関する発表
- ・ヨーロッパの学生との Zoom 食事会（自分の国または自分の好きな料理を紹介）
- ・実家または現在住んでいる町の自分の好きな場所を紹介

5. 主催：大学院国際連携文化越境専攻

6. 参加者の義務：

- (1) 事前説明会・事前研修への出席が必須（1月中旬に開催予定）
- (2) 報告書など派遣後の必要書類の提出
- (3) 事後報告への出席(2021年4月文学部新入生ガイダンス時を予定)
- (4) 文学部・文学研究科で2021年度に受け入れる交換留学生・留学説明会の支援をおこなうこと

7. 必要書類・締切日・提出先：以下をまとめて文系学部校舎1階101号室（京都大学文学研究科国際交流推進室）に1月4日（月）12月15日（火）午後5時必着で提出のこと。

- (1) 応募用紙（所定の様式。文学部の担任教員か所属系・専修（所属予定を含む）の専任教員の推薦所見が必要）
- (2) 直近の成績証明書
- (3) 語学能力証明書のコピー（英語のTOEFL ITP、TOEFL iBT、IELTSのいずれかは必須とする。その他の語学の能力証明書を追加してもよい。）

8. 審査：締切後、主として学業成績・語学能力・志望動機にもとづき、学年・性別・専門分野が偏りすぎないように配慮しながら、文学研究科国際交流委員会が審査し、1月13日（水）ごろをめどに候補者を決定して国際交流推進室から本人に通知する。必要な場合は面接をおこなう。

* 候補者決定通知後、連絡がつかない場合は、補欠者を繰り上げることがある。

9. 問い合わせ先：京都大学文学研究科国際交流推進室 (bun.kokusaikoryu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

10. その他：

~~* 11月25日（水）の昼休みにオンライン派遣説明会を開催し、研修内容や研修実施までの流れを説明します。~~

~~12時15分までに下記のリンクまたはZoomのミーティングIDとパスコードにアクセスし、説明会Zoomミーティングに入室してください。~~

~~<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/84373547029?pwd=eU13dXBjMXNHMzNBjYXowY3ZlSlREdz09>~~

~~ミーティングID: 843-7354-7029~~

~~パスコード: 241687~~